



ぐらむも部

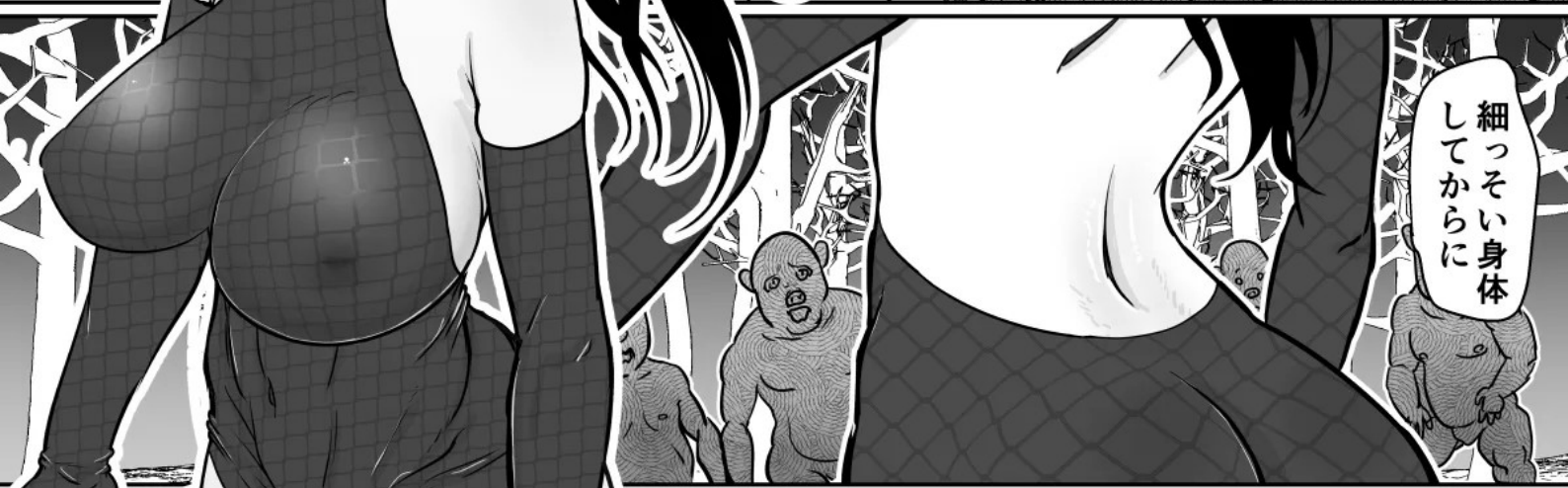




げひひ
一人じゃねーか

女忍者さんよ

お
お
お



細っ
そい
身体
して
から
に

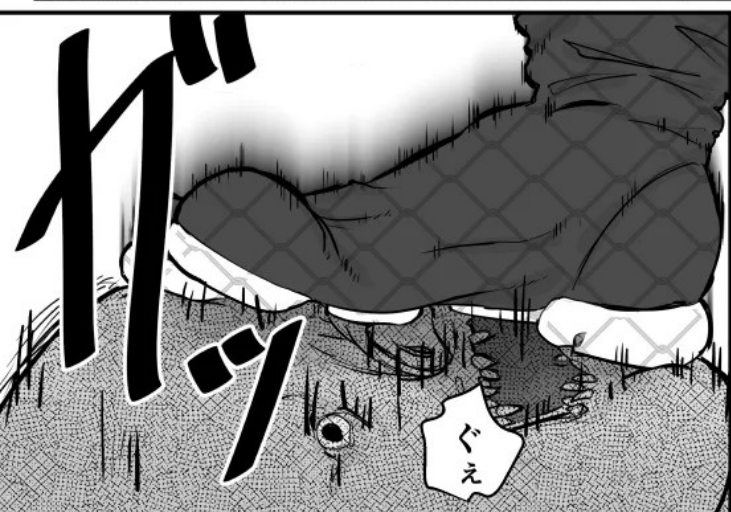
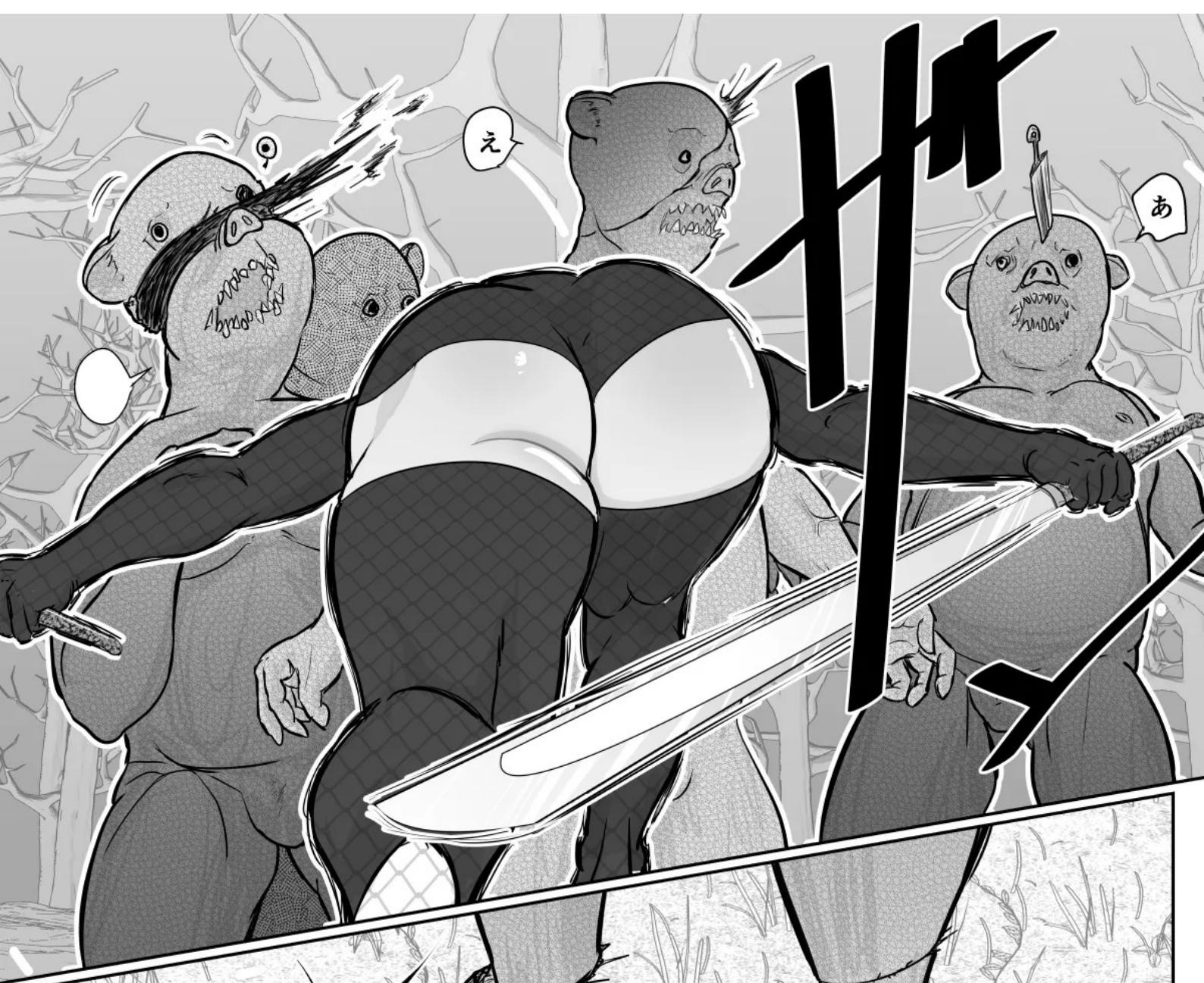


お主らこそ
4匹で大丈夫か？

何い



い
え



ほれ

終いじゃ

わらわを殺したくば
百匹は連れて来い

ぐう
強い

忍びの女あ

ぐへへ
百匹か

そりゃいいな
ふふふ

ははは

はは
ぐ

お帰りなさいませ
風様
今回の退治は
どうでしたか？

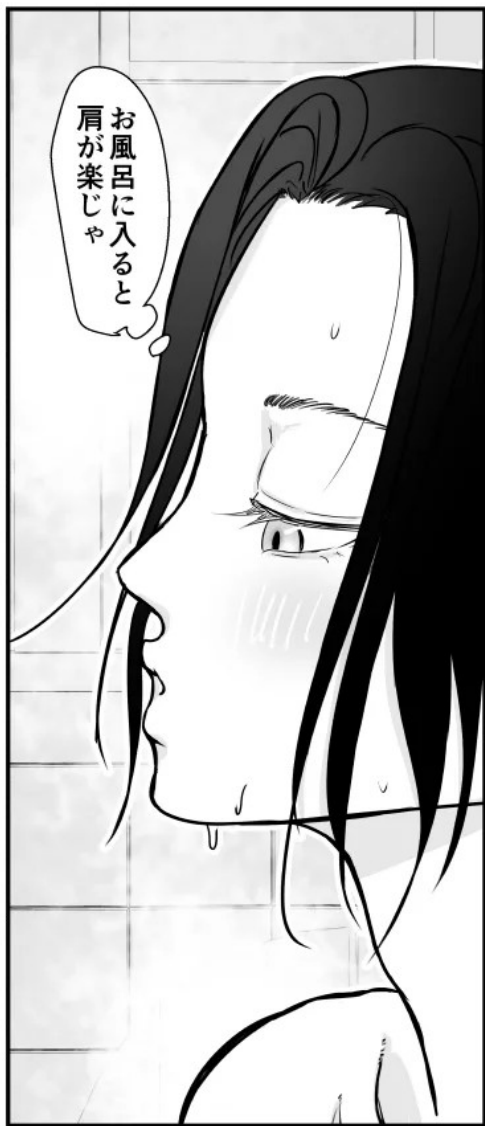
ふむ
他愛ない
帰りの道中でも
三匹始末した

おお
それは素晴らしい
ですが
姫一人で全て
退治されては
我々の存在意義が

ふふ

風様
お風呂の用意が
出来ております

うむ
ありがとう



お風呂に入ると
肩が楽じゃ



ふー

さすがに
一日三十匹は
疲れるな

たんぽん

ぶかぶか



前代頭領^父の死によって
悪鬼退治の里の頭領に
なつて一年
もう随分慣れてきた
と思つてたがの

風様
湯加減は
どうですか？





んー
少し熱くなってきたな
もうよいぞ



いつもコソコソ
訓練をサボるくせに
頭領に向かって
大胆な奴じゃ

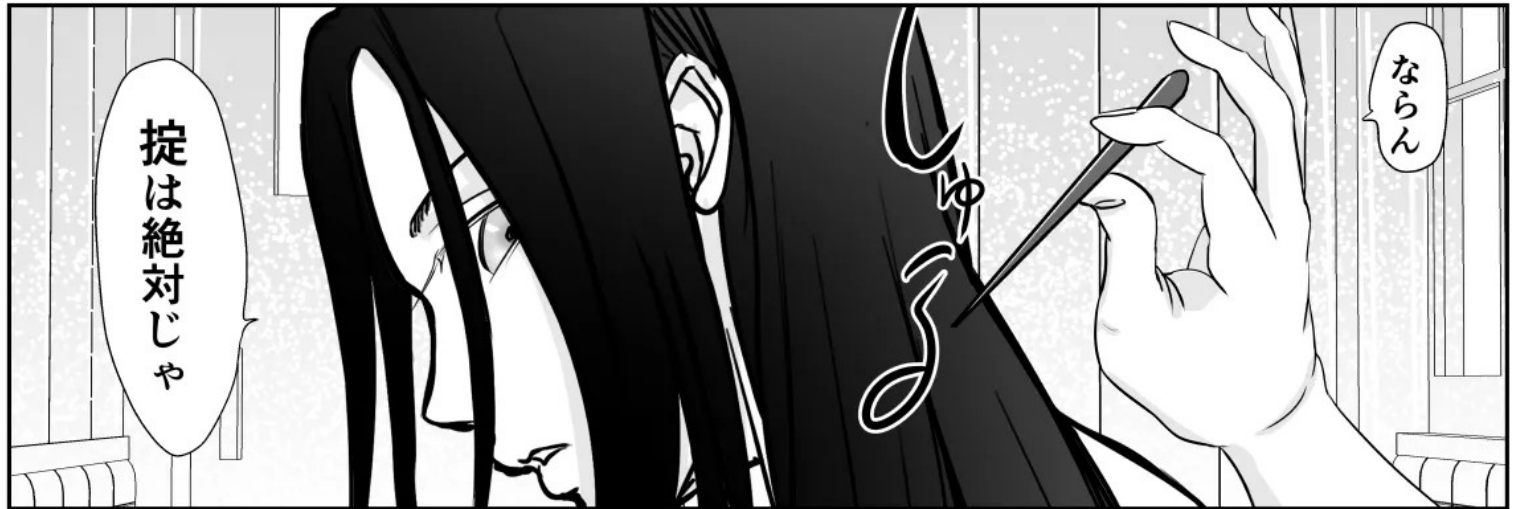
ひい
違います違います
あつしは

言い訳すんじゃない

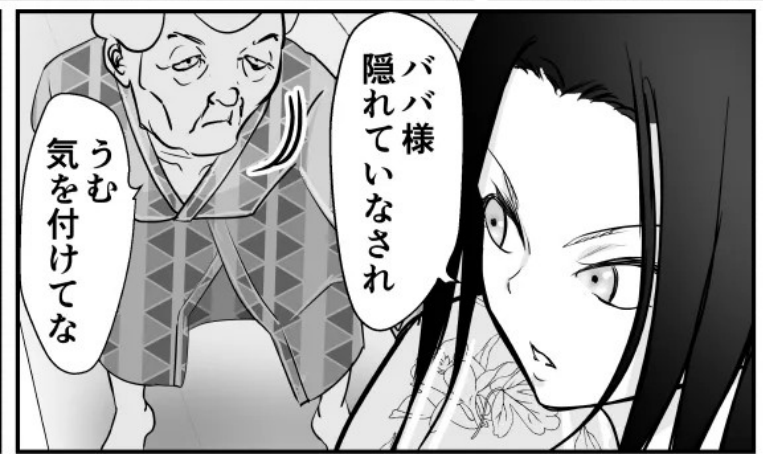
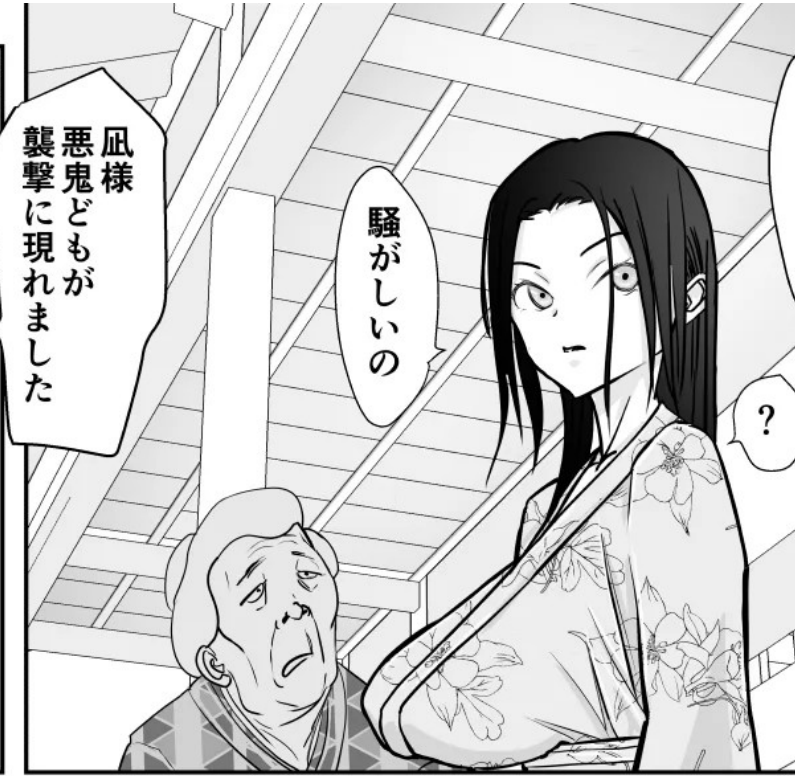
ひい
申し訳ございません
申し訳ございません

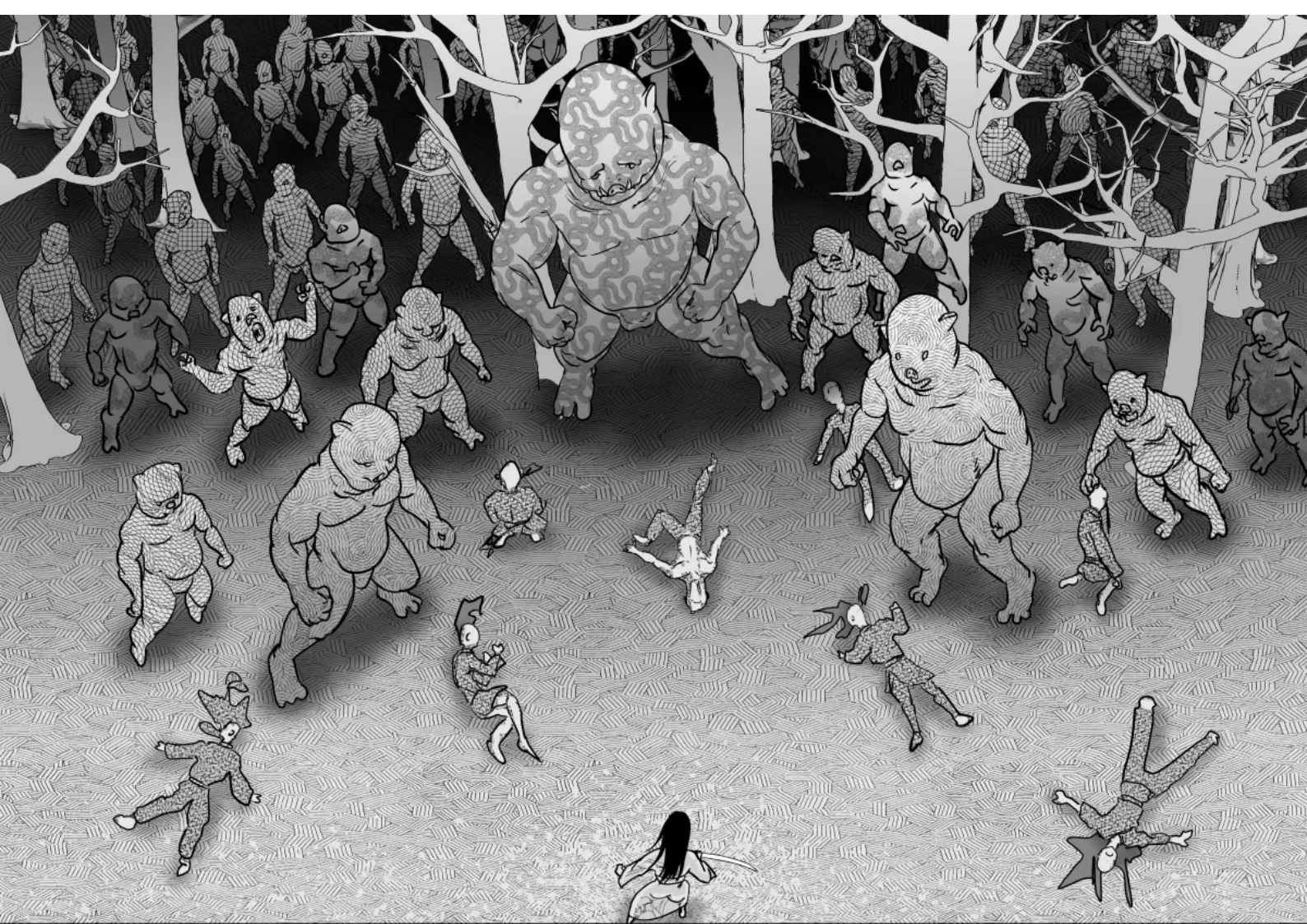
長への不敬は
掟により処罰だ
棒叩きだな

ひい
お赦しを









7/9



皆の者

返事をせよ

誰も
居ないのか



げひひ
あれから4時間
いつまでもつかな

げひひ



くそ
返事をしろ



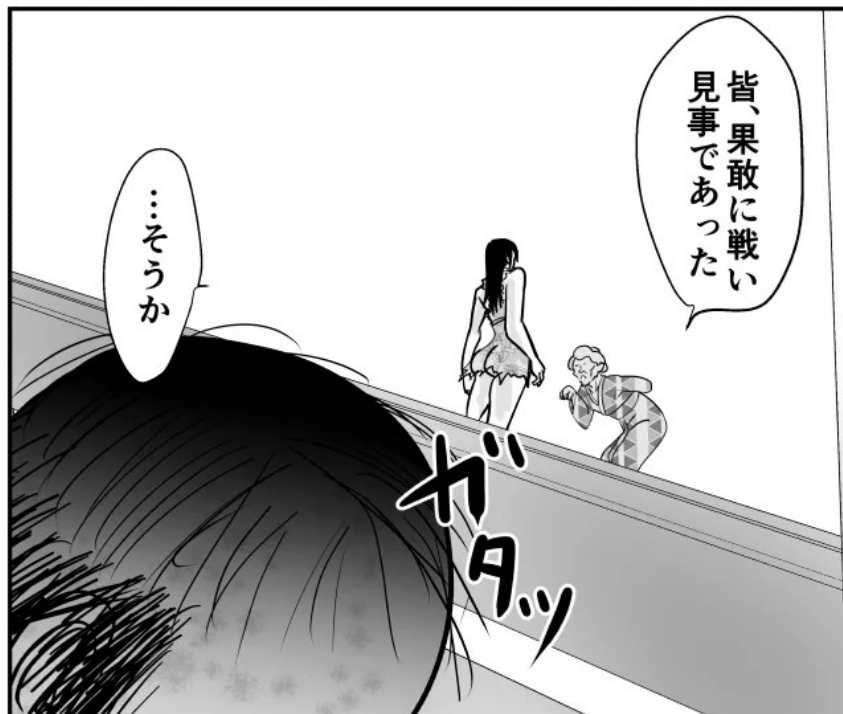
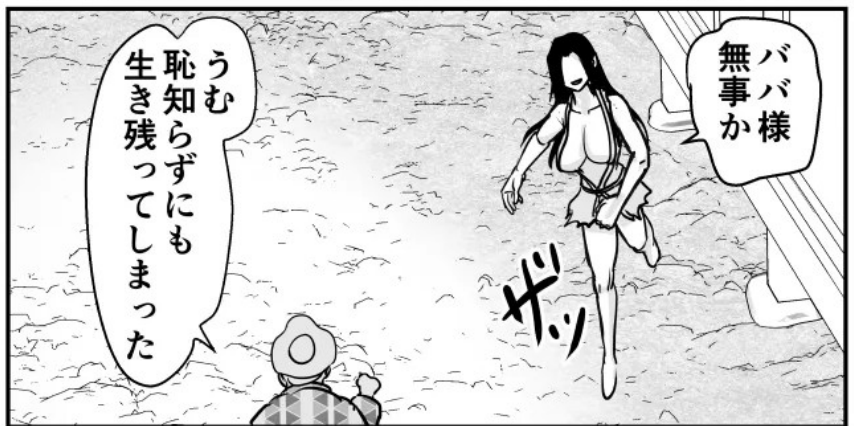
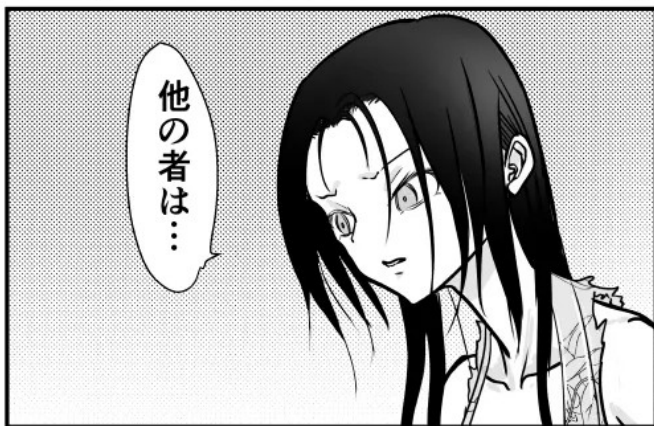
全員討ち死に…？



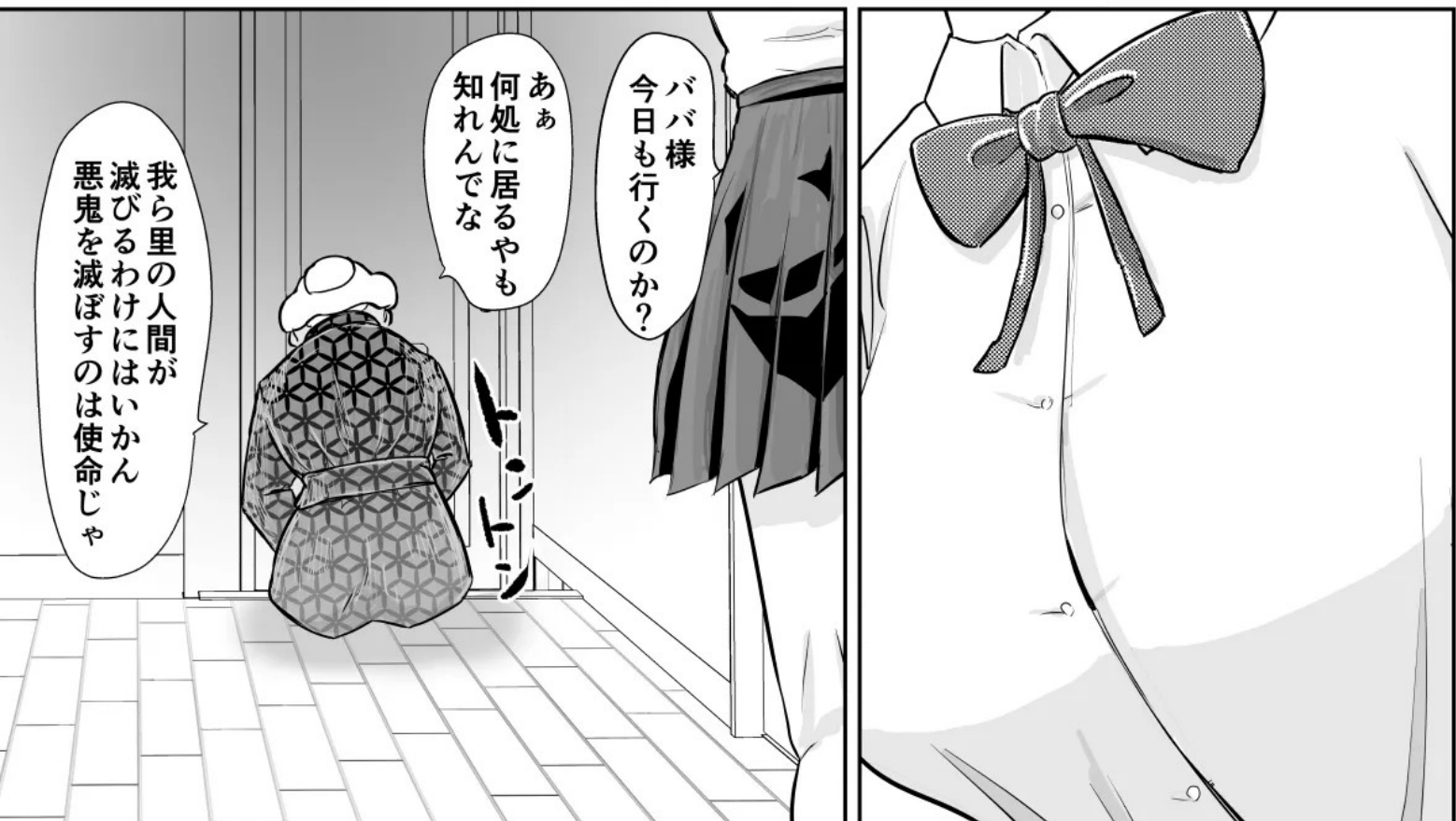
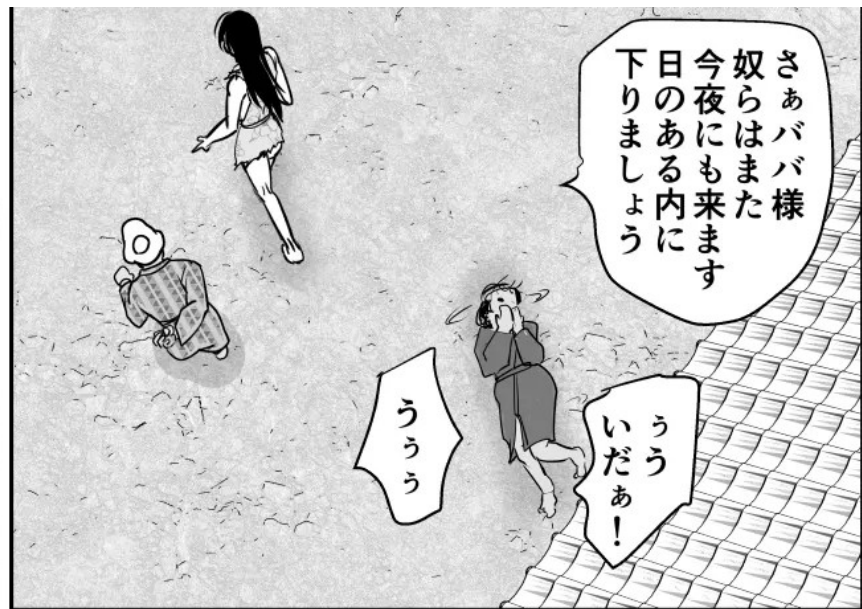
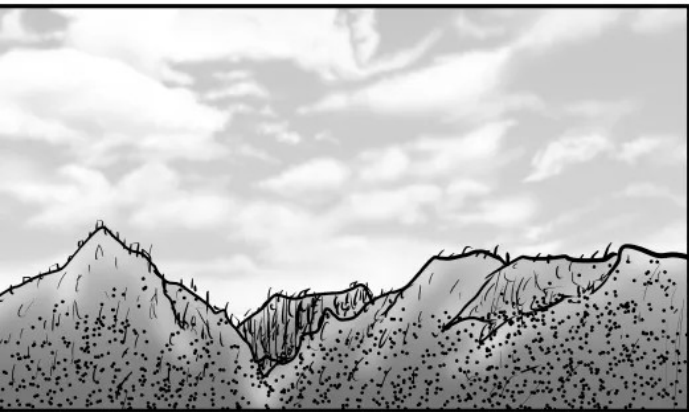
ん

おい
日が昇るぞ
引き上げだ

ちっ
また
来るからな







この街に来て半年

悪鬼が
人間社会に侵食するもの
時間の問題だと
今も生き残りを探す
ババ様

都会は
まるで平和じゃ
それに慣れぬ

おはよー
風

!

カン
カン
カン

飯住まいの学び舎に
学友も出来た

ああ
おはよう
エマ

ねー
土曜にさあ
○○ランド
行こうよ

吉沢君
誘ってさ

ああ
すまぬ
休日は引越しの
荷物やら片付けが
あってな

こっちの人間は
とても自由じゃ

○○?

えー

じゃあ手伝うよ
さっさと終わらせて
遊ぼうよ

えー優しーじゃん
良太

だって俺
優しいじゃん

恋愛というのも
自由らしい

親切
ありがとう

じゃが
これは自分で
やらねばならんのだな

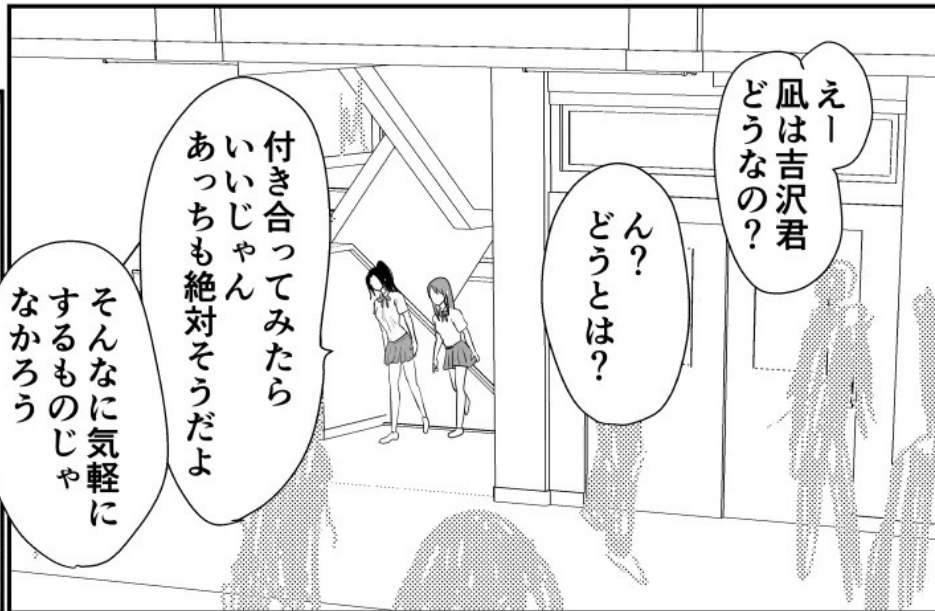


えー

あ

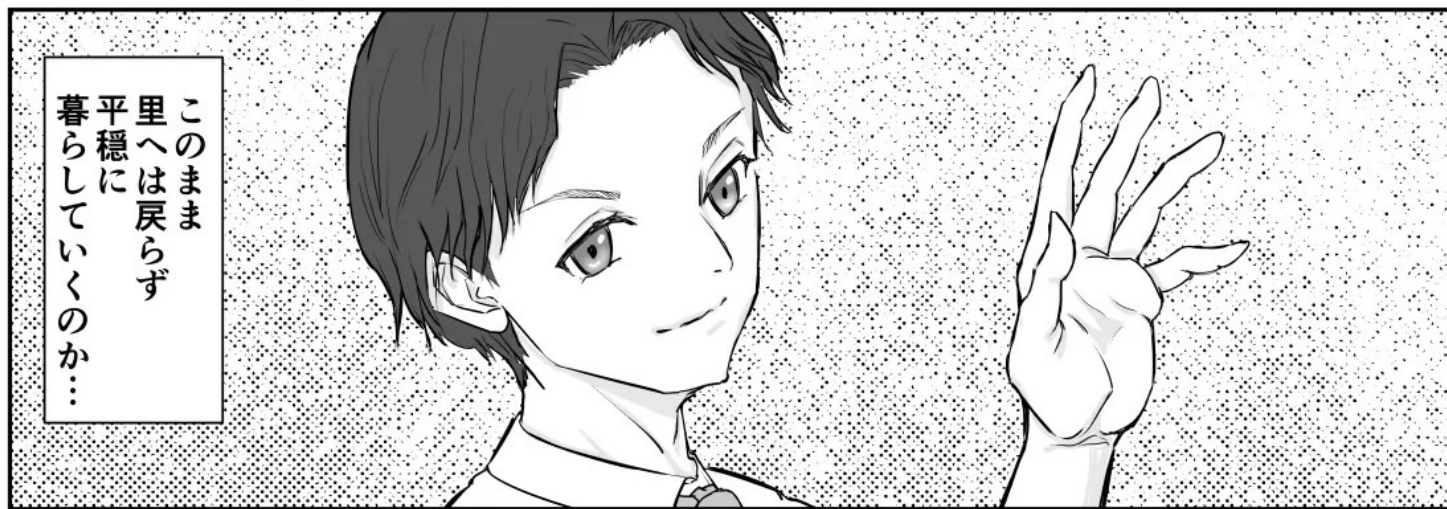
そんなに気軽に
するものじゃ
なからう

付き合ってみたら
いいじゃん
あっちも絶対そうだよ



ん?
どうとは?

えー
風は吉沢君
どうなの?



このまま
里へは戻らず
平穩に
暮らしていくのか…



悪鬼を滅ぼさず
生きるなど
死んでいった者へ
示しがつかん

んん
家の者に
聞いてみるよ

有り得んな

ん

ね
行こうよ

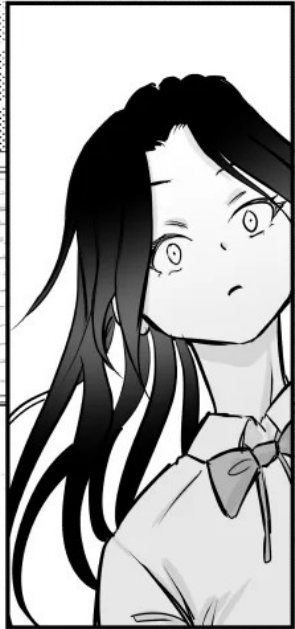


掟は絶対じや

えマジ?
やった

ねー吉沢君
今度さ一緒に

あ
待て
エマ



へへへ



風様ご機嫌麗しゅう
お元氣そうで何より
ですう

その恰好は
JKですか？
いいですなあ
げひひ



お久しぶりで
ございます
風様

あの晩の
生き残りじゃ
憶えておろう

今朝見つけたのじゃ
公園で
暮らしておった



こやつが
唯一の生き残りじゃ

いやもう捜し尽くした
もう居らんよ

そんな事はない
まだ何処かにおろう



パパ様
こんな奴が居ても
意味がない
追い出してくれ

そうもいかん

えっ？！

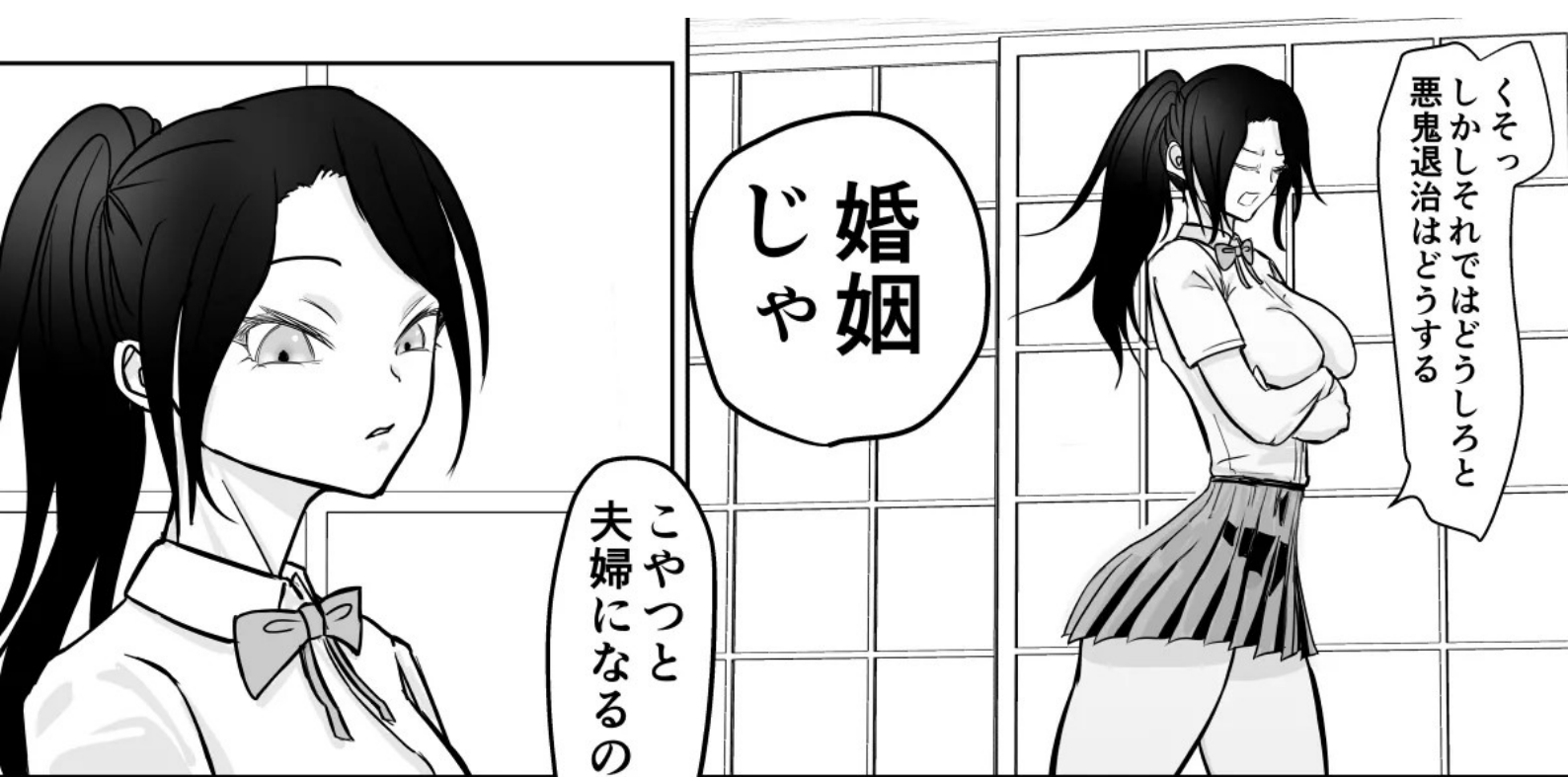


黙れ

よく
わらわの前に
出てこれたな

う

…
ひい



くそっ
しかしそれではどうしろと
悪鬼退治はどうする

婚姻
じゃ

こやつと
夫婦になるのじゃ



何?

婚姻の儀
を行う

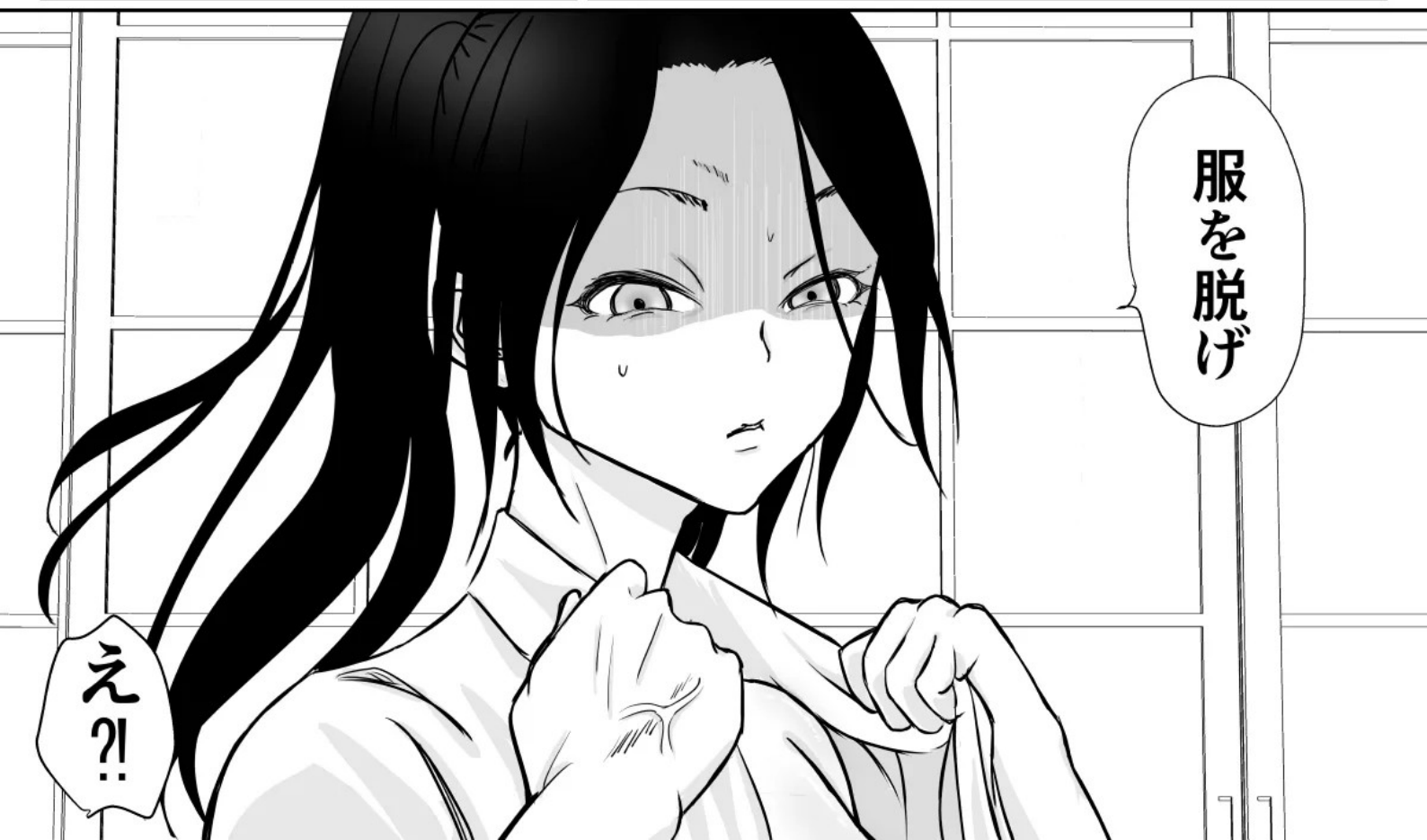
退魔の血を
絶やしてはいかん

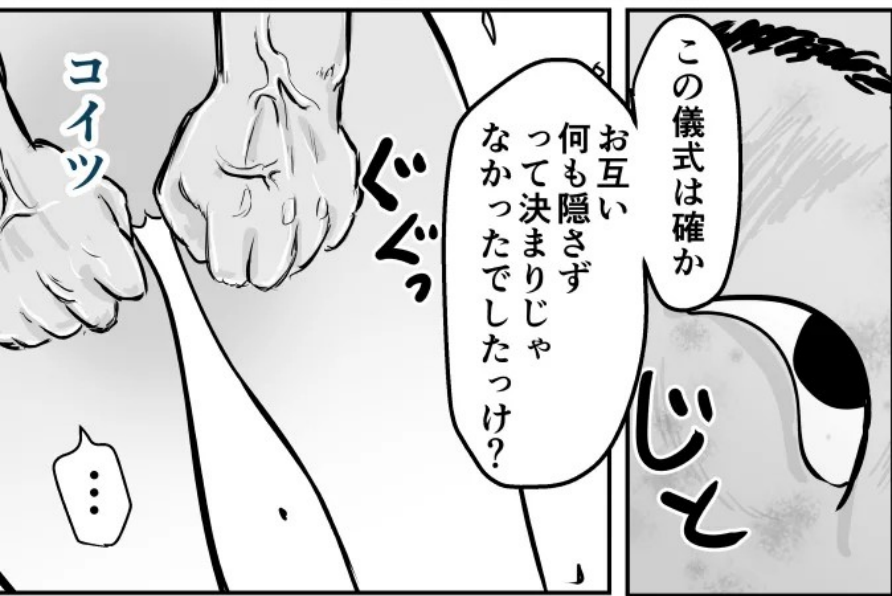
何?

待て待て待て
何を急に

何を言っている







うひい！
すっげええ

さすが風様
鍛えてらっしやる

ぐ
ぐ
ぐ

では婚姻の儀式を
執り行う

つるまん
だあ

風様の裸

掟では
妻は夫の所有物
となる

そうなのだ

ち



ぶり

ああすみません
む、剥きますねえ

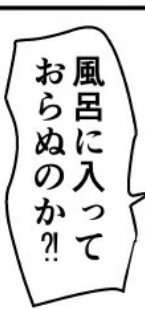
その証として
妻は跪き
生殖器へ
口づけをせよ



風
儀式の途中じや

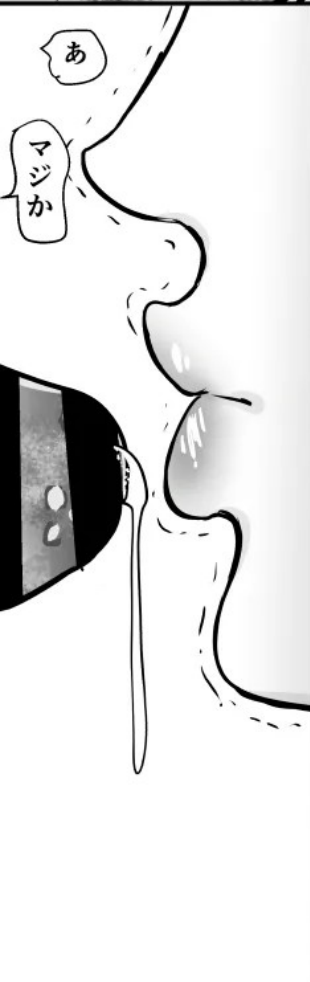
なっ?!

へい
今は浮浪者
なもので



風呂に入って
おらぬのか?!

なっ何じゃ
その汚らしい
モノは



あ

マジか



これは掟なのじや

ド



うおおお

くっ

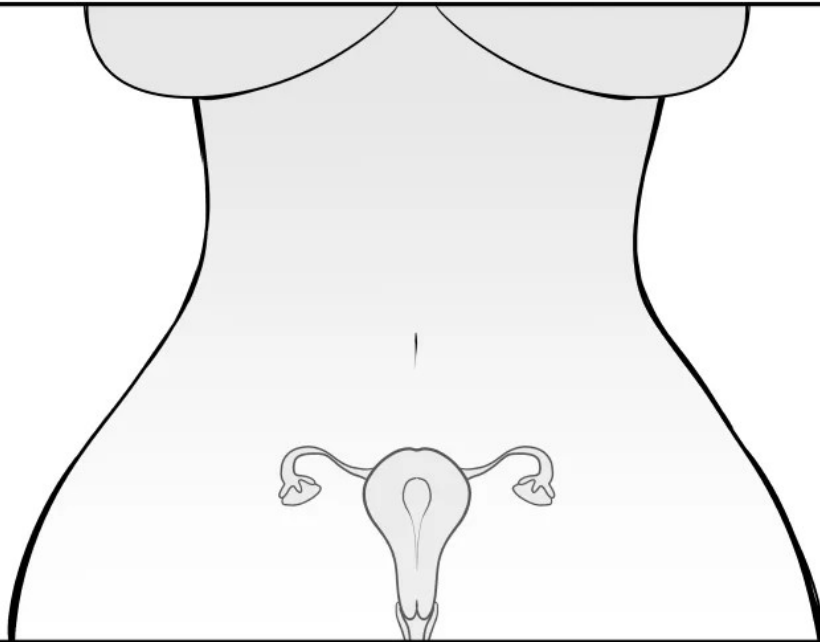


クソお何てことじゃ
わらわがこんな奴のモノを

屈辱



女性器へ
口づけじや

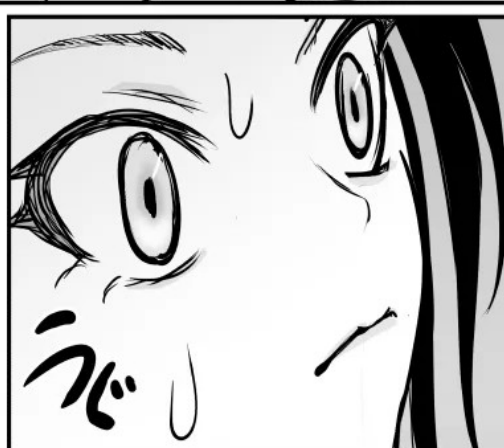
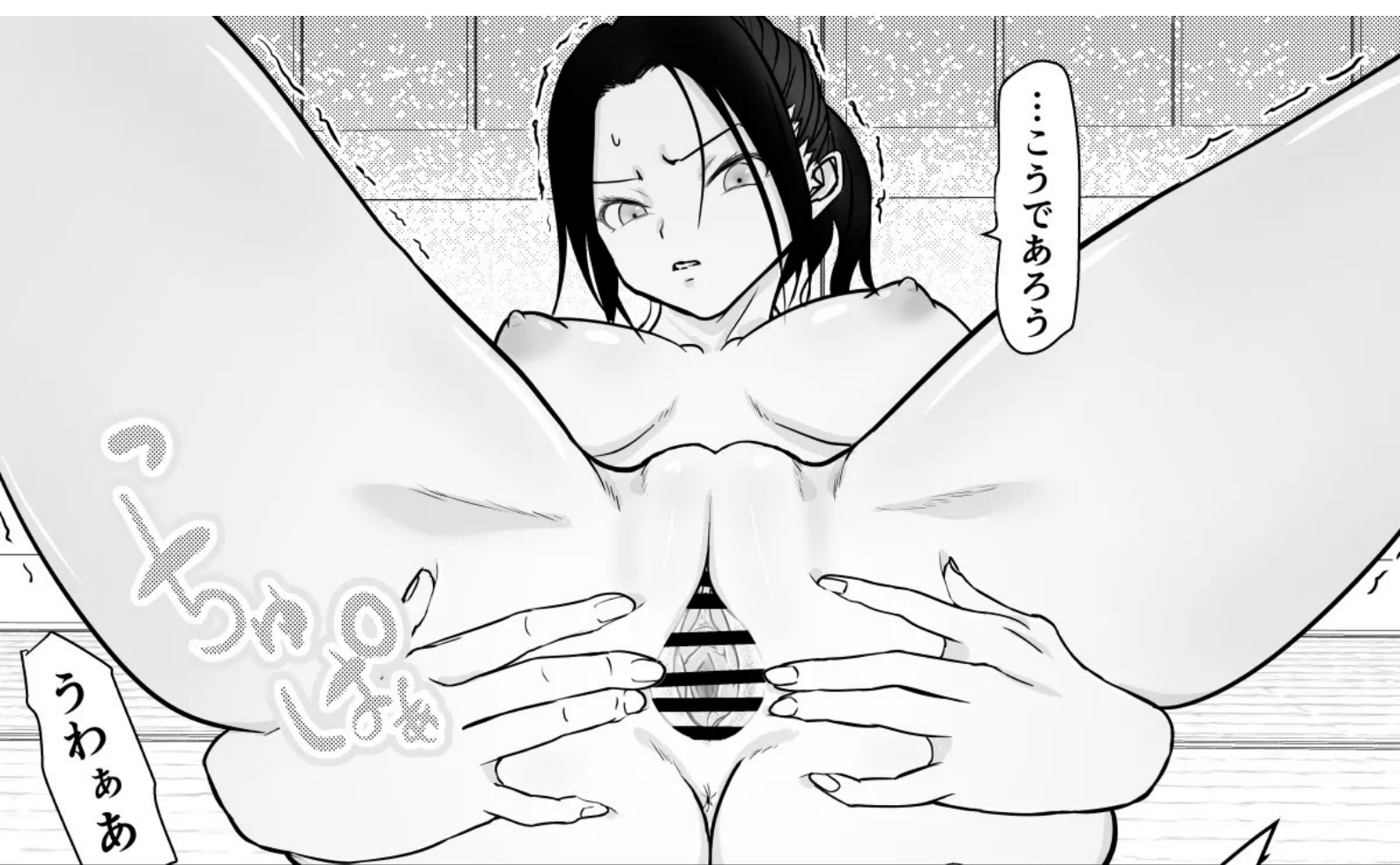


やり方は

はひー

わ…
わかって…おるわ







うひい
覗きしてた頃は
乳首すら
見れなかったのに！

薄ピンクだあ

今日は
コソコソじゃなく
じっくり見させて
頂きますよ！

くっ
キサマっ！

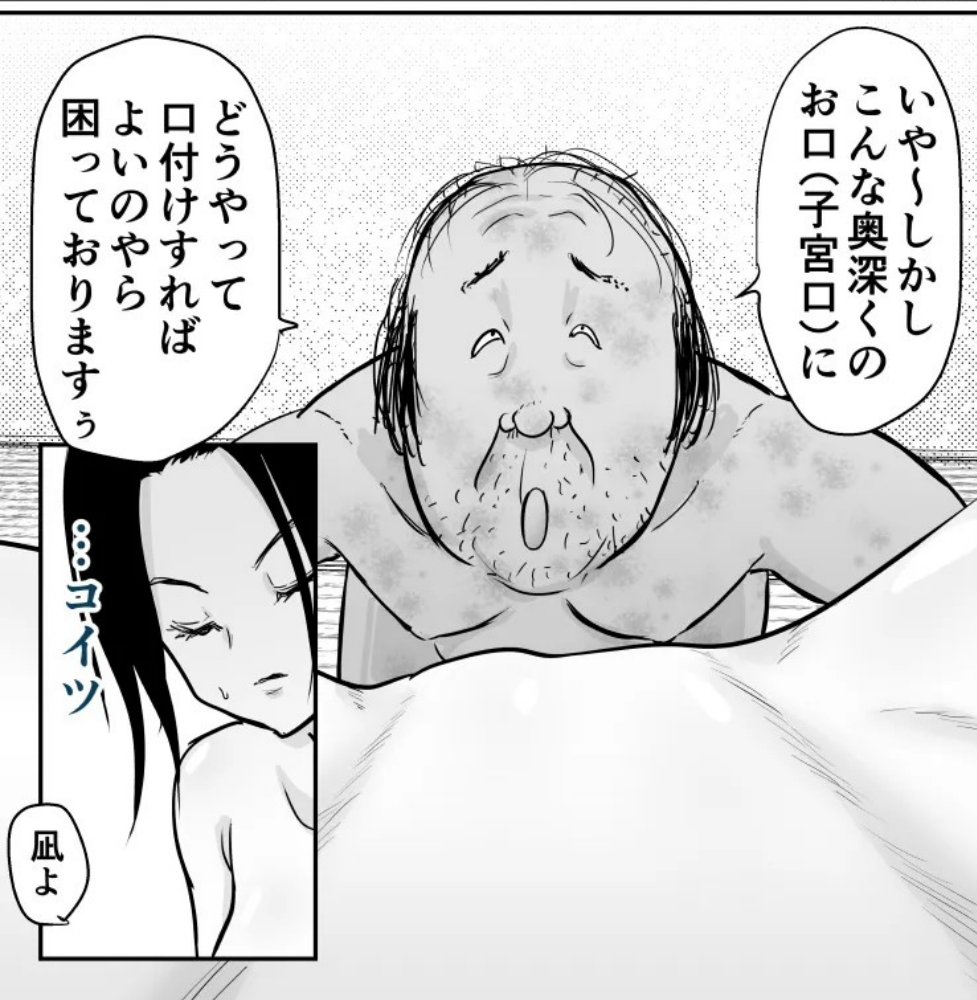


何か勘違いしておらぬか
この儀式は
極めて重要なものな

おや

風様
何か**膜**の様なのが
見えますが？

！



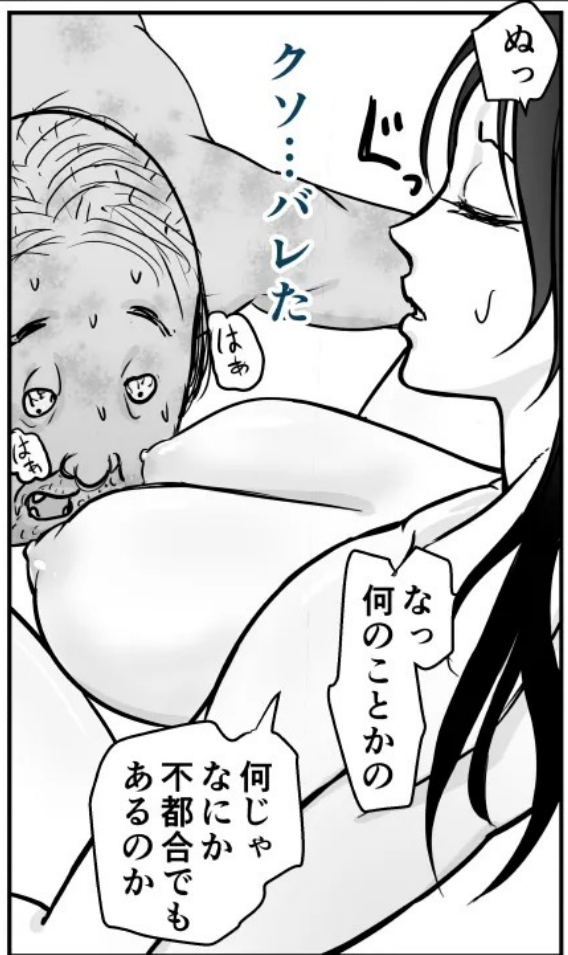
いやーしかし
こんな奥深くの
お口(子宮口)に

どうやって
口付けすれば
よいのやら
困っておりますう



おコイッ

風よ



くそ...バレた

なっ
何のことか

何じゃ
なにか
不都合でも
あるのか

ぬっ

じっ

はあ

キ：サマの生殖器を
：わらわのこの穴の中に
挿入すれば

い

：届くであろう

子宮口と
尿道口で
口付けと
言うのじゃ

パクパク

はへり
なるほど

なんと
そうだったんですね
げひひ
えいでも
こんな小さな穴に
入るかなあ

：安心しろ
この穴は
そっそれが
入る様に
なっておる

いちゃ

くひっ
風様から
挿入許可
出るなんてえ
こここ光栄だなあ

きよ許可ではない
これは儀式で
仕方なく

じゃじゃじゃ
おじゃまさせて
もらおうかなあ

かにかん

風様の
気高いおまんこ

うわあ
いくぞ

やばあ



あああ
そうだ
膜

膜は
どうすれば

はあ

はあ

4ラ
4ラ

や

：破って
かまわん

はひいいい
やったああ
じゃじゃじゃ
いきますよお

ずっとずっと
この中
入ってたか
うですう

ぷちゅ

風様の中
おじゃま
します

無念

ああ入った
風様入ったあ
入りましたあ

ち

!

ああまだ入る入る
入ってる入ってる

こんな奴にあっさり
侵入を許すとは

うあスゴ

ナニコレ

俺のちんぽが

風様の
生殖器に

奥は
どこかなあ

悔しい
こやつワザとゆっくり
わらわの膣の具合を

風様の割れ目
押し広げて…
入ってるう

んぐッ

あ
なにこれ
チン先ヤバ

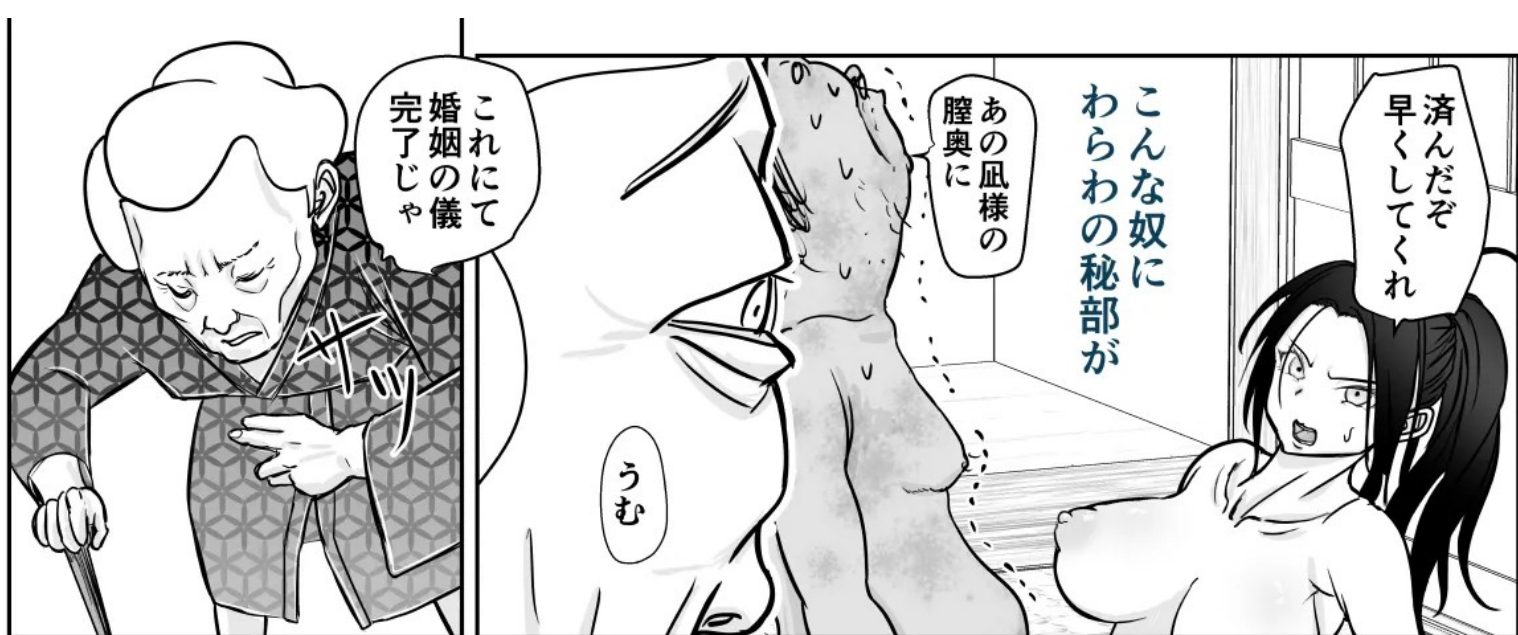
え?!これもう
入らない

ああ
くちゅくちゅ
してるう

風しやま
これ奥?
これ奥?

…そうだ

もう
挿入れなくてよい





えい

じゅん

うぐっ

すみません
すみません
あと一回だけです

いきますよー

なっ?!

待て!
キサマ

おい!
早く抜け!

は?

うぐっ

おいっ!
何をしておる!

あああ
すみません
一回だけ
一回だけ



ああああ
避けましたね

おえろおお



ちゅー！
ちゅーしましょう



こうですよ！



あああ
キスさせないと

ぬちゅー



里全滅
最高っ！

げひひ
隠れてて
よかったあ

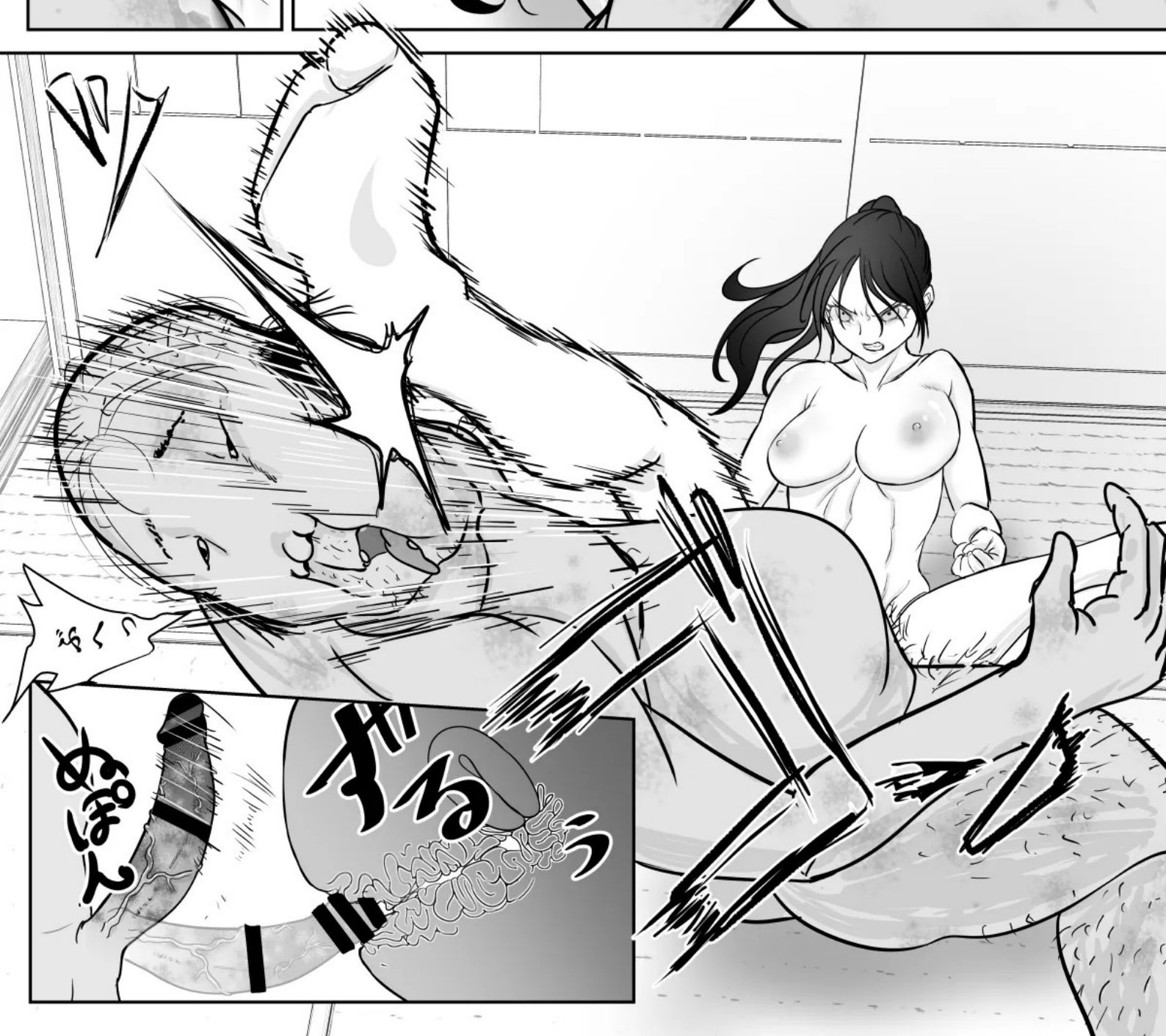


まるつきり
修行なんか
しなかったのに

はあああ
しゃいこう
最強風様の生殖器
好きに出来るって

この中
おもてなし
最高







ひやいいいい

何と言った
下郎が

ひいいいい

キサマあつ!!



そんなもの
無効じゃ!
このゴミが!

夫婦になれた
あまりの幸せに
つい口があ

申し訳ございません!!



勇敢に戦った者は
死に
こんな下衆が
生き残るとは



え〜

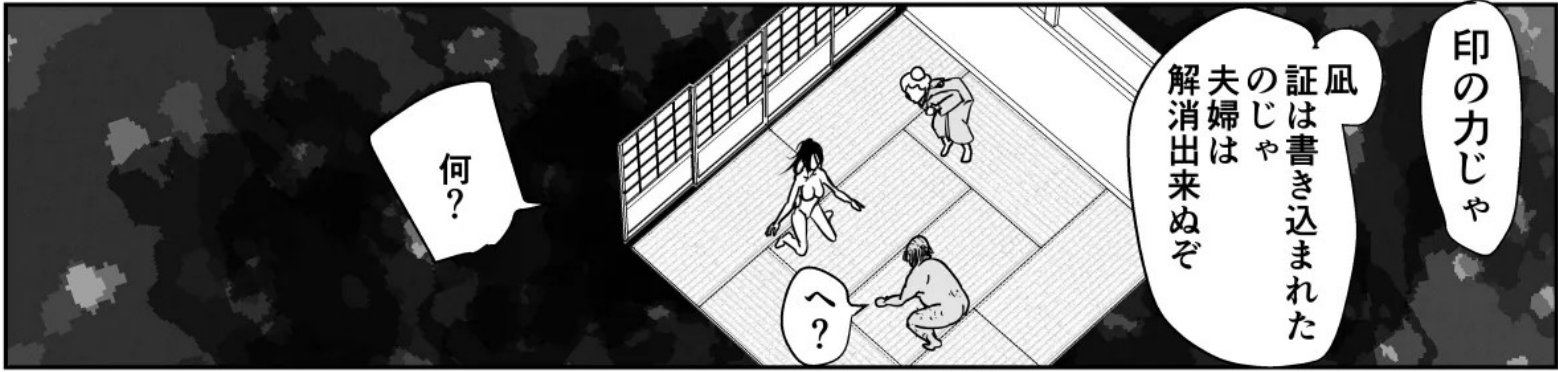
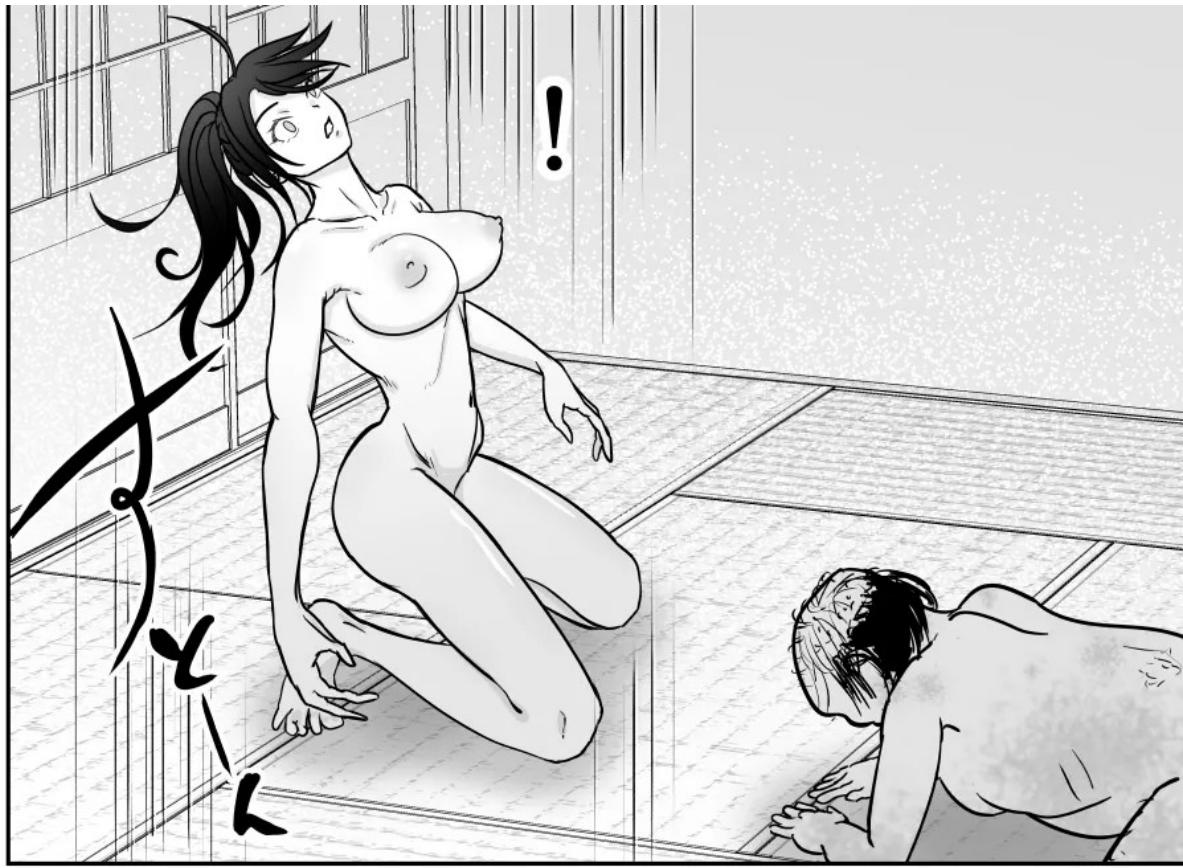
ガクガク
ガクガク

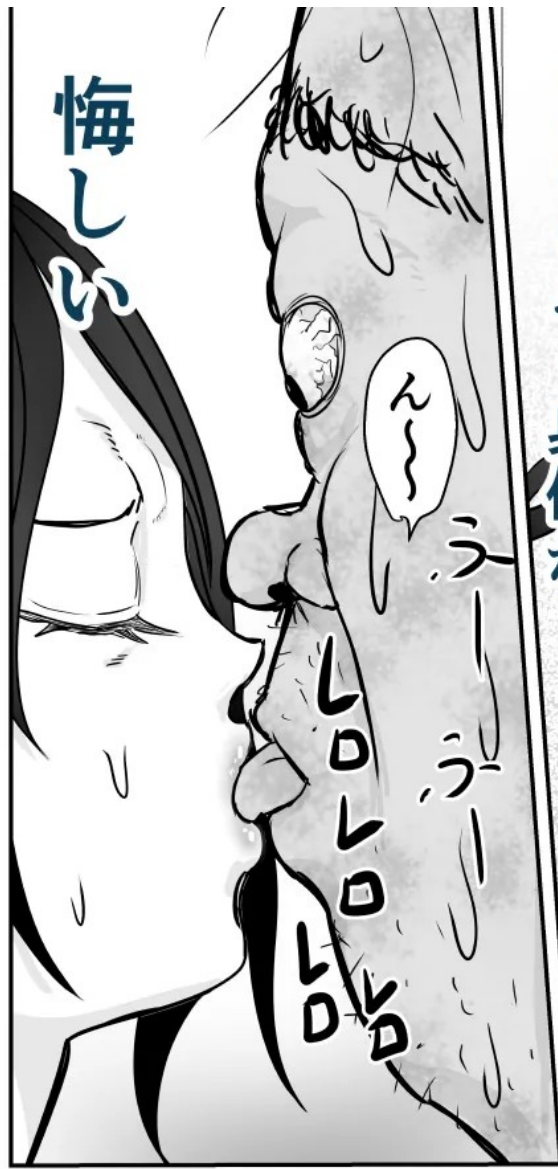
え〜

え?
そんな〜



成敗してやる





~~~~~  
そつ  
身体が











一度ならず  
二度までも  
神聖なわらわの中に

無礼者！

お久しぶりでーす  
はあああやっぱり  
気持ちいい  
絶対無理

これこれえ

ぶあ、



えい

止めっ

これもうダメとか  
びびったあよお

しゅん

ずる

夫のちんぽ  
気持ち良くするのが  
妻の仕事ですよお

コイツ  
当然の様に  
わらわの膣奥を

はあ？



キサマ下郎の分際で  
何を言っている！  
今すぐ抜かぬか！  
手打ちにしてやる

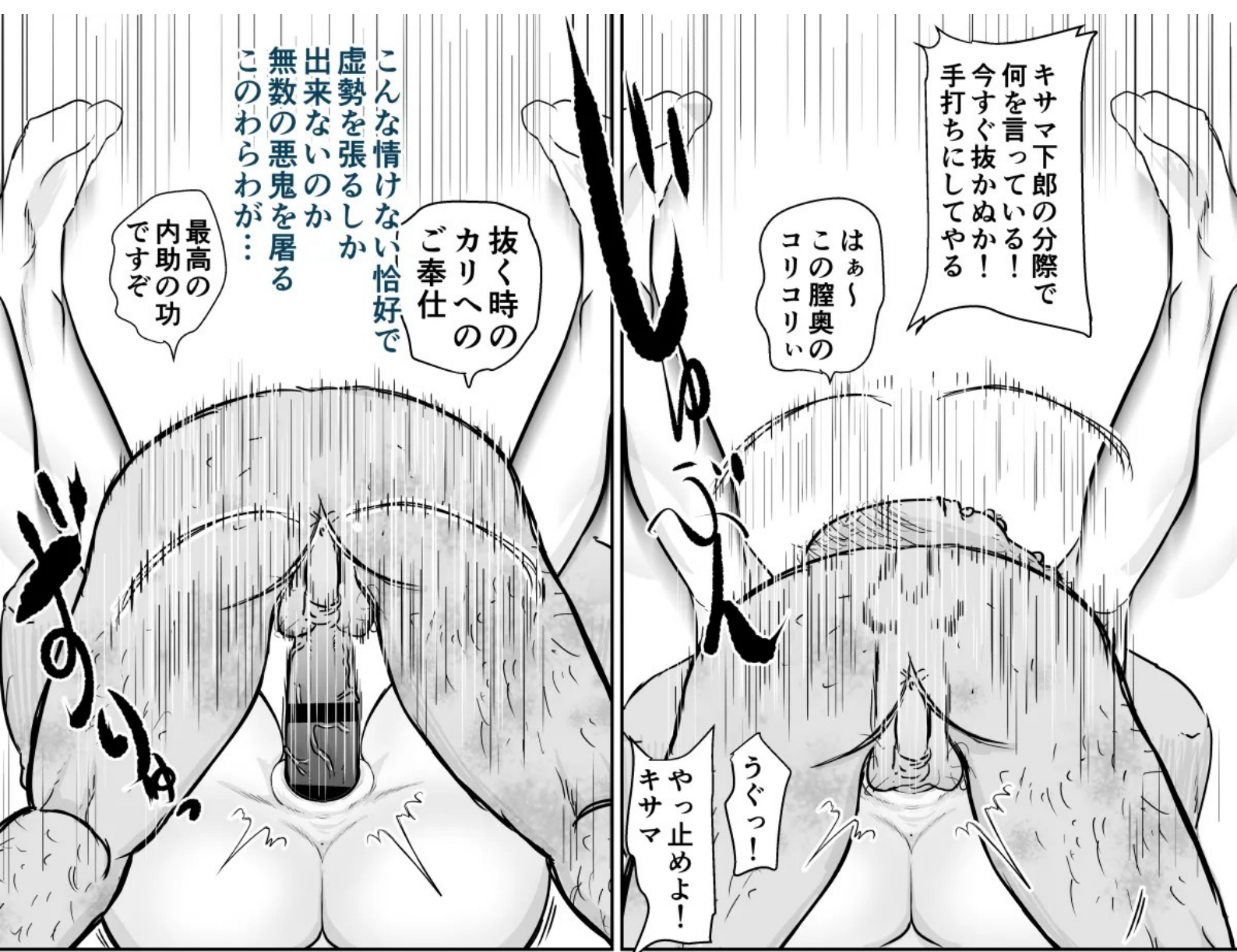
はあ  
この膣奥の  
コリコリい

うぐっ！  
やっ止めよ！  
キサマ

抜く時の  
カリへの  
ご奉仕

こんな情けない恰好で  
虚勢を張るしか  
出来ないのか  
無数の悪鬼を屠る  
このわらわが…

最高の  
内助の功  
ですぞ



男と女の  
関係なっちゃった

皆の憧れの  
風様に  
ちんぽ入れてる

夢にまで  
見た  
風様との  
交尾  
楽しみですぞ

うううう  
この身体  
大好き

風様の  
ココの具合  
誰も知らないの？  
二人の秘密ですね

出し入れ  
するたびに  
びったり閉じて  
新品の快感

もう止めよ  
充分であらう！









こっここに  
この気持ちい穴の  
奥のお高貴な産卵場に

下人の精子いっぱい  
泳がせますからねっ

はああ  
風様に種付け  
しゆるう

はあ？

何を言っているタワケ  
立場をわきまえろ

これは婚姻の儀  
受胎の儀ではない

合意もなく  
そんな事  
許されるか

下人が長を孕ますなど  
聞いた事ないわ

コイツの子種を受精する？

おいっ！  
止めんか！

これ以上  
ちんぽを  
出し入れするな！

先刻より  
奥まで  
来ておる

止まれ！

待て待て待て！

あゝ  
いいんだあ  
このまま出して  
いいんだあ

ああああ  
夢の専用穴

ああ  
穴全体で  
ちんぽ  
気持ち良く  
してくるゝ

風様と子作り  
しちゃうんだあ

わらわの子宮は  
お前のモノではない

聞いておるのか？！

子作りなど  
冗談でも許さぬぞ

今度は  
バックの具合も  
味わいますよゝ

ぬちい

一体何を

キサマ！

くそ  
力が入らぬ





おほお  
こりや  
すごい景色だあ

細い腰だなあ

悪鬼倒す為に  
毎日鍛えて  
ましたもんね

お陰で  
こんなにそそる  
身体になりましたね

女の仕事は  
穴ですよ

キサマ  
こんな無礼をして  
タダで済むと思うなよ

おおおしゅごい  
更に風様の奥まで  
お邪魔できますう

風様を  
こうやって  
突けるなんて

あああ  
なにこれ  
ちんぽ  
おかしくなるう

こんな土下座の様な状態で  
下人に生殖器を  
ほじくり返されるとは

うぐ

くそ

ふああああ  
ちんぽ  
全部気持ちいい

お

お

お



ああああああ  
堪りませぬ  
この交尾はまた  
カリへの刺激が  
格別ですよ風様！

ふええ  
この思い切り  
ちんぽ打ち付ける  
気持ち良さ  
しゃいこう！

安心して下され  
膣奥までしっかり  
突き上げてさしあげます

あああああ  
おぞましい  
お前のちんぽが  
わらわの  
膣奥深くまで  
入ってきておる！

キサマ  
覚悟しておれよ

おなこ  
無防備な女子に  
好き放題男根を  
突き立てるなど  
それでも  
里の男か

早く抜け

こんな気持ちいい穴  
ありがとうございます

恥を知れ

キサマ  
本当に  
手打ちに  
してやる



はああ  
狂っちゃう  
狂っちゃう

はああああ  
風様の  
おまんこの具合  
こんなに  
味わえるなんて

頭  
おかしくなる

とうに  
触れておるわ  
このカス豚があ！

これ絶対  
頭おかしい  
射精になる





しやつ  
射精じやと?!

キサマ正気か?!

ほぼ本気で  
わらわの膣内に  
キサマの  
おぞましい分身を  
注ぎ込むつもりなのか

はあ  
はあ

コイツ本当に  
わらわの肉壺の具合の良さに  
射精することしか  
考えられなくなっておるのか?!

そんなまさか  
こんな下人に  
中出しされる?

冗談であろう?

風様  
ずっと中出し  
したいと思って  
ました

はあ?!

はあ  
すげえ身体あ  
身分も高くて  
ホント何回  
自慰したか

はああまさか  
風様に種付け  
出来るなんて

無い!  
それは無い

キサマ...  
何を言っている?

そんな事  
私が許すわけ  
あるまい

何を考えておる!

だってだって  
この穴  
気持ち良過ぎるん  
だもおん

ビュービュー  
我慢出来るちんぽ  
なんて無いです!

はああ  
柔らかあ

おい待て  
キサマ  
さっきから  
何を血迷うたことを

冷静に考えてみよ  
キサマの様な下賤の者が  
わらわの様な身分の者に  
種付けなど有り得ぬであろう

分を  
わきまえろ

ずぶずぶ

聞け!

待て!

それは冗談では  
すまんぞ

殺すぞ?

風様の  
無料おまんこ  
最高すぎ

妊娠させる  
うわまじか  
孕ませ前提交尾OK  
この先永遠に?  
マジうわマジで  
しゅごいそれ

風様の生殖器  
好き放題  
ほじくり放題?

俺が風様を?  
マジ?

止まれ  
止まれ

高貴な身分の  
風様のおまんこで  
ちんぼ擦ってると  
思うとお

さつきから  
何を言っておる

あああつ  
ヤバ  
それ考えたら  
ヤバっ

すみません  
これは掟なんで  
出します

風様の  
JKおまんこに  
中年精液出します

ああああ  
ダメじゃあ!

カリが  
引っ掻くな  
嫌じゃ  
嫌じゃ

待て待て待て

それだけは  
絶対にイカン!

深い深い  
わらわの奥まで  
来るでない

街で暮らしたのなら  
分かるであろう

わらわは女子●生じゃぞ  
この歳で妊娠してる者  
などおらん

無い無い  
キサマで  
妊娠など無い

下衆な浮浪者の精子で  
孕みたくない

悪鬼退治の為に  
鍛えてきたのに  
ああああ  
こんな雑魚男に  
負けるなんてえ

わらわには  
今…想い人が  
おるのじゃ

子作り虫  
注ぎ込まれるなんて  
絶対に無理じゃ

これ絶対  
妊娠する

妊娠嫌っ

お前の肉便器に  
なるなんて嫌じゃ



妊娠絶対嫌っ

絶対絶対  
出しては  
ならぬぞ

女は孕まされたら  
負けなんじゃから

妊娠ぼて腹で  
負けたの皆にバレる

わらわの膣は  
お前のちんぽ  
悦ばせる為  
あるんじゃない

これ絶対  
妊娠する

1●歳で  
キモおやじの  
妊娠する

妊娠する  
妊娠する

こんなカスに  
好き放題  
遊ばれて妊娠  
させられる

妊娠で  
負けるの  
屈辱すぎる

ああああああ  
これ絶対妊娠する  
精液出されたら  
絶対妊娠する

絶対ならんぞ

?!

だから  
わらわの中に  
精液注ぐなど  
絶対に...

わらわは絶対に  
さきまなどに  
負けたりはせぬ

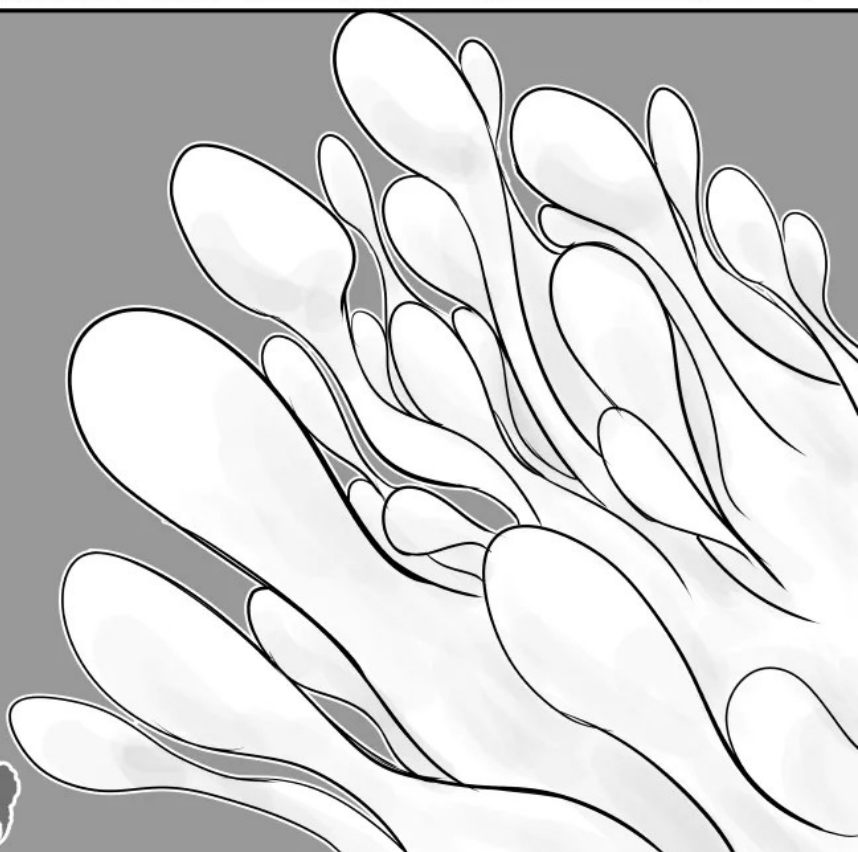
こんな印  
無ければ  
一刀両断して  
たころぞ

びる...  
びる...  
びる...





びゃる





ああああああ

キサマ精っ精液  
出しておるなっ

なっなんて事を

どんなに強くても  
交尾は男に  
勝てないんだあ

卵子は精子に  
弱いんですよ

すごくお強い  
風様でも  
卵子は無防備  
なんですからね

嫌じゃ

ブタの様な僕の  
ゴミ精子でも

嫌でも  
孕んで  
しまふんだあ

ああああああああ  
おぞましいものが  
入り込んできてる

ななな

全部出すう

何を言っている  
早く抜かぬか

妊娠してしまう  
ではないか

ちんぽを抜け  
いつまで  
注ぐ気じゃ

あああああ  
何という事じゃ

最後の一しぼ

っり!

うぐ

ぎゅ

ぐぐ



これ全部?  
こやつの子種か  
ユイツが痙攣する度に  
何億という精子が  
わらわの腔内に  
放たれたのか

そいつらが  
受精卵になる為に  
泳いできているのか



うろたふ

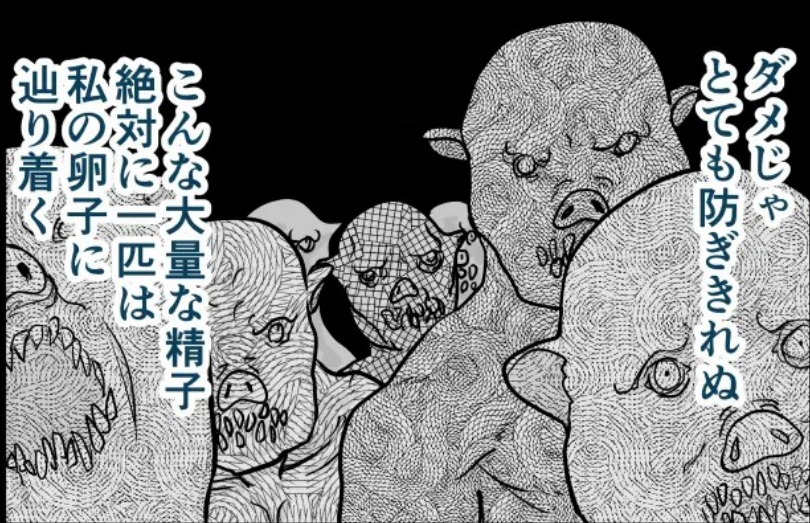




何という生き恥じゃ

ひええ  
怖い

こんな卑怯者の精子が  
わらわの腹を膨らませる  
のか



こんな大量な精子  
絶対に一匹は  
私の卵子に  
辿り着く

ダメじゃ  
とても防ぎきれぬ



風様  
お掃除は  
妻の務めですぞ

これは  
掟じゃ

わらわが  
負けるはず

!



こんな生き恥を

い  
ろ  
あ  
お

な風様  
ちんぽ舐め  
お上手ですなあ

うひい

たまらん



悔しい

ああ高貴な風様が  
お顔そんななるまで  
ちんぽ啜えて

うっ

あっ  
風様出ちゃう！

？！

まさか  
口の中に出すのか？

わらわの口の中に  
こんなおぞましいものを  
便器ではないのだぞ

うひー  
風様の口に  
精子の溜め池出来たあ

夫の精液は  
妻が処理しなければ  
いけませんぞ

うっ

キサマあ



わらわがこんな屈辱を

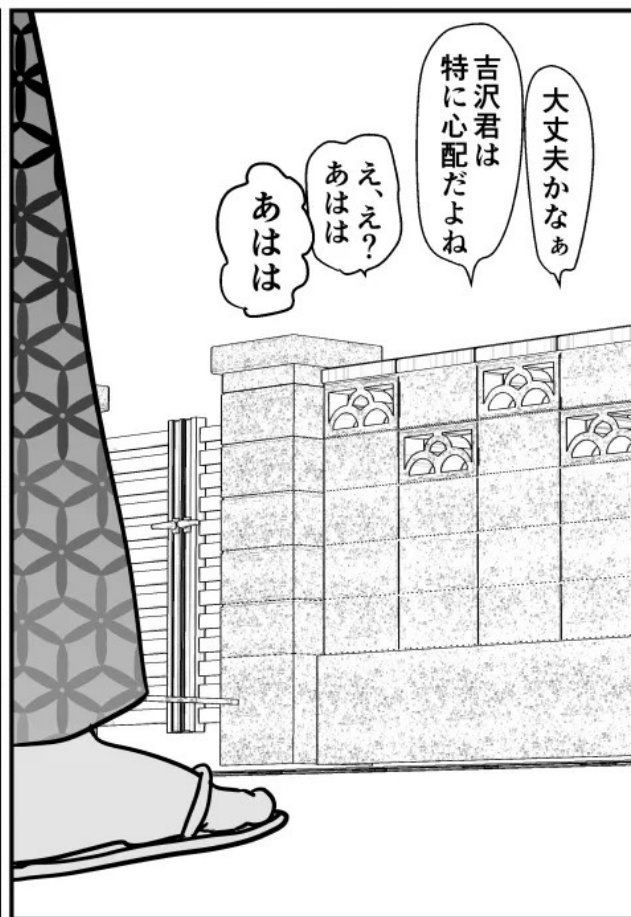
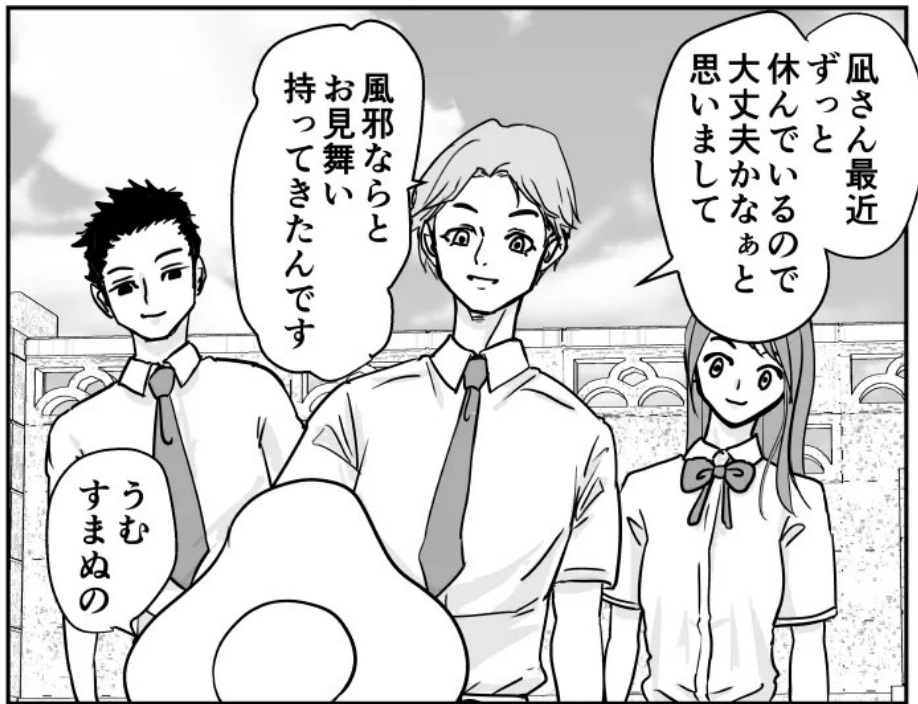
くそっ  
ドロドロすぎて  
喉に張り付く

うわあ  
やった  
風様が  
生臭精液飲んだ

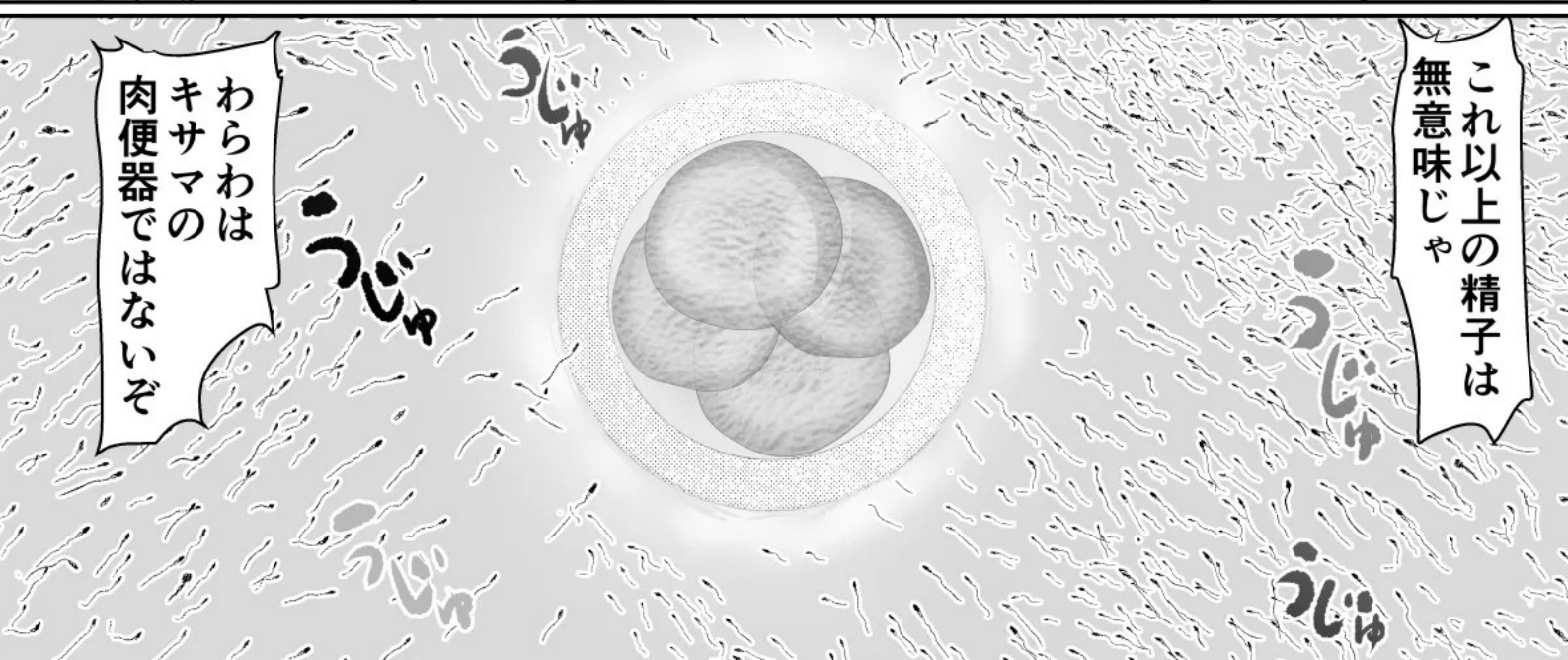
ぐわ

げひひ  
妊娠が分かる  
その時まで  
交尾に  
励みましょうぞ

毎回精液全部膣内に  
注ぎ込みますから  
安心なされ







はひー  
今回も大量射精  
出来ましたぞ  
風様の名器のなせる業  
ですな  
げひひ

挿入するたびに  
ちんぽが感激  
致します

中年の精子は不妊率が  
上がりますので  
出し過ぎという事は  
ないですぞ

ましてや  
下人の精子で  
高貴な風様の  
卵がそう容易く  
受精するはずが  
ございません

折角新しいのを  
注ぎ込んでも  
溢れてしまいますなあ

おお  
またすぐ風様の中に  
戻りたいと  
ちんぽが言っております

風様  
次はお風呂で  
挿入させて頂きます

どろお

それいつの  
精液かなあ

ぱん

パン